

## 有職の想いを込めて風呂敷の新たな用途を提案

### 三陽商事株式会社

代表者／米井 康雄  
住 所／京都市下京区新町通松原上ル御影町451  
TEL／075-361-0181  
URL／<http://www.furoshiki-sanyo.co.jp>  
事業内容／和装小物製造・卸

風呂敷ギャラリーをご案内いただいた後、  
包み方体験をしました



## 新商品とファンづくりで「緑茶の復権」を目指す

### 株式会社ちきりや

代表者／米内 政明  
住 所／京都市中京区三条通室町西入衣棚町45  
TEL／075-221-0528  
URL／<http://www.kyo-chikiriya.com>  
事業内容／緑茶製造・卸、飲食業

美味しいお茶の淹れ方を教えていただきました

**三陽商事**は、昭和23年に風呂敷をはじめとした和装雑貨製造・卸で創業。近年は素材やデザインを工夫し、バッグやスカーフ、テーブルクロスなど、新たな風呂敷の活用方法を提案し顧客創造に取り組まれています。なかでもスペインのアパレルブランド「Sybiljar」のコラボ風呂敷は原色の鮮やかな色使いとエレガントなデザインが人気となっています。同社のものづくりへの想いは「有職」の2文字に凝縮され、常に新しいことにチャレンジしてゆく精神と、「古き良きもの」を守り伝えてゆくことの2本柱を理念として、国内生産にこだわり、委託先との信頼関係により実現する「品質」「納期」「伝統」に加え、企画力や提案力で差別化を図っています。米井社長は「新たな用途を提案すると売場が変わる。ファッションやインテリア部門への営業を強化していきたい」と意気込みを語っていただき、昨年度は「知恵ビジネス」に出展し、多くの商談が成立するなど、早くも効果が表れています。

**ちきりや**は、安政元年（1854年）に京都の老舗をもって知られる千吉の別家にて呉服商を営んでいた秋山覚兵衛が、暖簾分けにより、山城宇治銘茶の販売を開始したことに始まります。日本の緑茶の消費は昭和50年頃をピークに減少傾向にありますが、同社では「緑茶の復権」を企業理念に掲げ、新商品開発を通して顧客創造に取り組まれています。「知恵ビジネス」には、良質の抹茶を石臼で細かく挽いた「茶こし付き宇治抹茶」を出品。スイーツへのトッピングや製菓材料として、バイヤーからも非常に好評でした。平成23年には、戦前に営業していた「ちきりや茶寮」を復活させ、お茶を活かした創作和洋食の提供やお客様との触れ合いイベントを通して、ファン拡大に努められています。米内社長は「クリエイティブ産業モデル企業に選定され、交流会を通してコラボが実現するなど、ネットワークが広がった。今年度も『京都知恵産業フェア』に出展し、販路開拓に取り組んでいきたい」と、京商事業の積極活用をお約束いただきました。

# おじやまします！

立石会頭の会員訪問レポート 35

立石義雄会頭も、会員の皆さまを訪問し、ご活躍の現場を拝見しています。その様子をご報告します。

本所では会員企業の知恵を活かした商品の販路開拓支援に力を入れています。今回は、「知恵ビジネスメッセ」に出展するなど、本所が主催する販路開拓事業を活用している2社を訪問し、商品開発や顧客創造にかかる取り組みを伺いました。

会頭のひとこと

今回訪問した2社は、伝統的な商材を現代のライフスタイルにあわせて新たな顧客創造に取り組まれている「知恵ビジネス企業」と言えます。京商事業を上手に活用し、自社のブランディングや販路開拓に取り組まれており、今後益々の発展を期待します。